



山ごころ

大滝せせらぎ

里ごころ

はたおと秩父

人ごころ

つながる秩父

秩父市

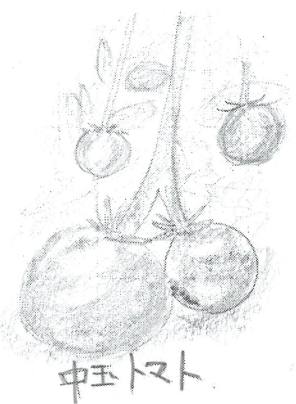
地域おこし協力隊

たより

6〜7月号 (No. 52)



きゅうり

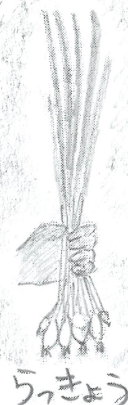


中玉トマト



中津川も
〜大きくなるにつれて
赤みをおびる〜

キハバツ
〜根っこから〜



うつみょう

〜大滝の美味しい夏野菜〜



山びころう大滝せせりぎ

おせわになります！

梅雨入りしてもパラパラつと降るだけであまり梅雨っぽくない日々が続いています。朝晩は冷え込み昼は暑く、体がなかなか慣れてくれません。しかも、この夏は暑くなるとか。

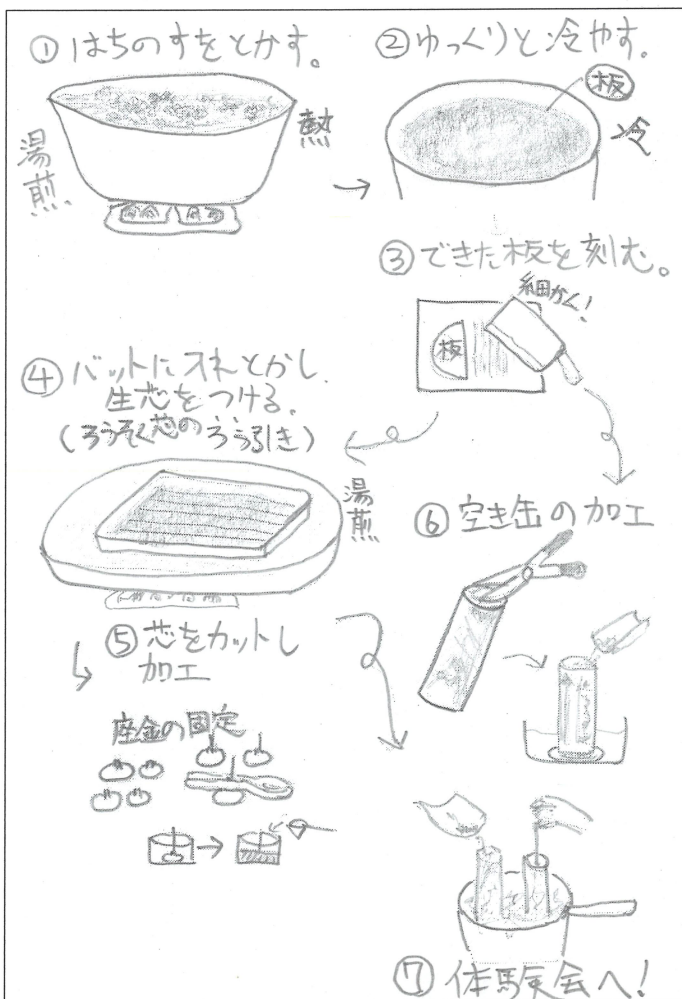
今のうちから体力づくりをしなければ・・・みなさんも、無理せず、でも今のうちから、夏に向けて準備をしてみたいかがでしょうか？（谷口は、秋野菜の準備にちまちまと苗を育てたりしていました！）

前回お話した「サークルハチノス」の活動ですが、この記事を書いている6月半ば現在、準備の真っ最中。初めてのイベント主催なので、うまくできるか心配です。なればこそ、万全を期しませんと！

今回の体験会は大滝とその周辺の方を対象に絞って募集をかけていました。大滝蜜蝋を広めるために出張開催も企画しています。ですがやはり、大滝に来ていただき、この自然の中で語らいながらの体験会が一番いいかなあと、そう、思います。

記事を見てくださっている遠方の方とも交流するきっかけづくりをしたいと考えています！

「はちのすをつかったろうソクづくり体験会」準備風景



栃本キャンドルナイトのお知らせ
大滝の栃本地区では、毎年お盆に「キャンドルナイト」を開催しています。今年は8月13日（日）の夜。栃本がろうソクのやさしい灯りで包まれます。
そこで、谷口のつくる「みつろうろうソク」もその一助に。詳細はフェイスブックで情報公開をする予定ですので、ご興味のある方はそちらをチェック！

お問い合わせ、ご質問は大滝総合支所地域振興課 谷口まで！

TEL 0494-5510862

里どころ① はたおと秩父

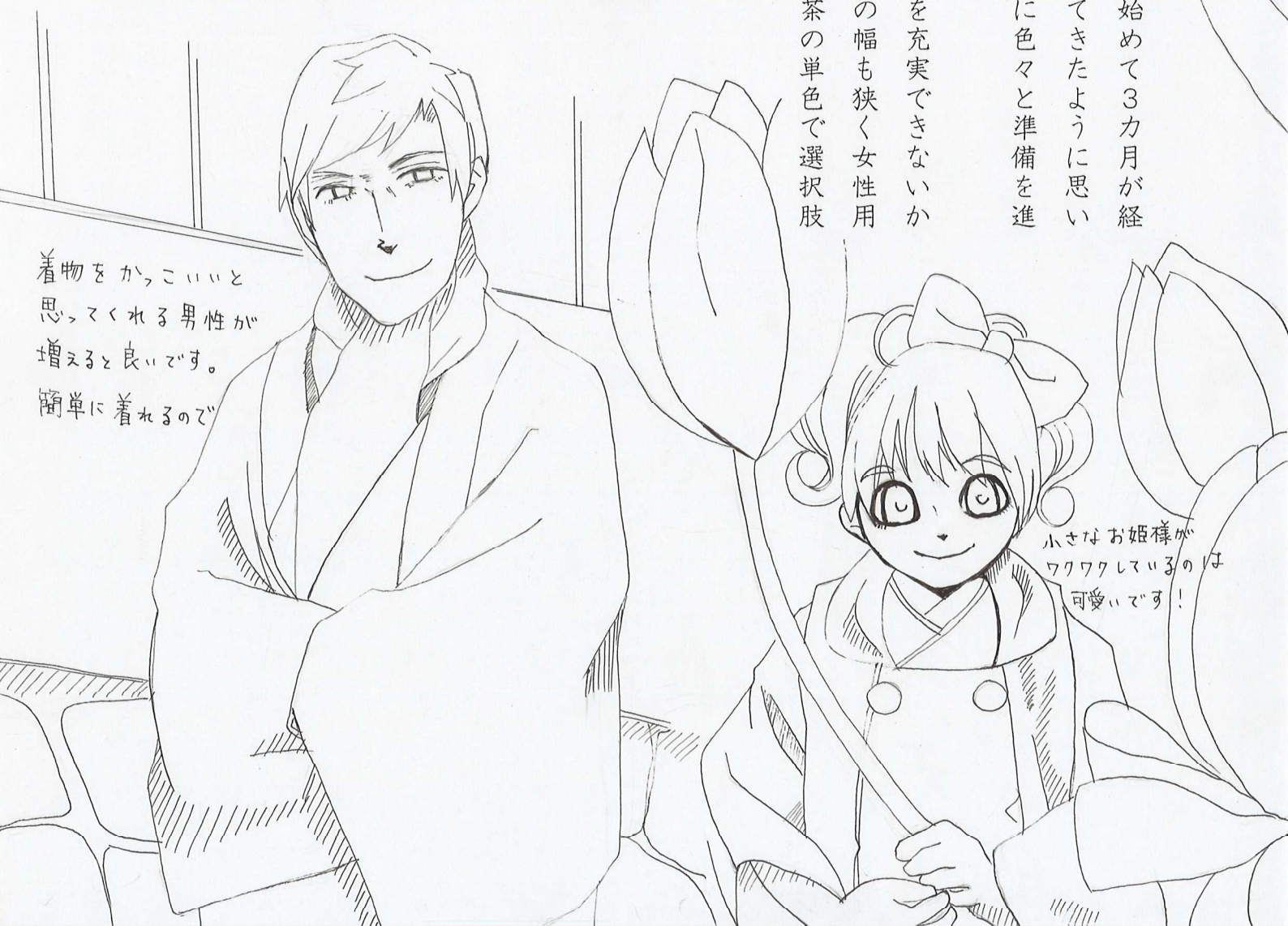
暑い日や雨の日が続き着物を着るのが
難しい季節になりました。
お祭りの日は涼しくなる夜を狙って浴衣を
着て出かけたいですね。
(銘仙PR担当 関川)

ちちぶ銘仙館でレンタル着物「ぼてぼて銘仙」を始めて3カ月が経ちました。少しずつですが秩父の方にも認識されてきたように思います。暑い夏を乗り越えたら本格始動できるように色々と準備を進めているところです。

意外と男性の利用者様が多く、なんとかサービスを充実できないか検討しているところです。残っている銘仙は反物の幅も狭く女性用がほとんどです。男性用も数枚はありますが黒や茶の単色で選択肢が少ないため銘仙以外の着物を配備しています。

ご要望もあるので男性用銘仙を用意したいところではあるのですが、市民の方から寄贈を募るとともに新作を作れると良いのですが。縞、もしくは明るい色で男性用を用意できないか考え中です。

無いなら作れば良いですよ。手織りが落ち着いたら職人さんに相談してみようと思います。スタート時に用意できなかった子供用銘仙も徐々に増えてきました。3歳〜5歳くらいの女の子用なので七五三で着てくれる娘が現れるのを心待ちにしています。七五三、振袖、卒業式と秩父の方が人生の節目で銘仙を着てくれたら嬉しいですね。



着物をかっこいいと思ってくれる男性が増えると良いです。簡単に着れるので

小さなお姫様がワクワクしているのは可愛いです！

里ごころ②

はたおと秩父

6/17(土)のみやのかわナイトバザールで初めて自分で企画した「DIY MEISEN」を出店させていただきました。コンセプトは、「自分でオリジナルの銘仙グッズを作って、普段の生活に取り入れよう」というものです。DIY作成例を展示し、銘仙のハギレを販売・作り方の提案などをしました。

この企画を通して私が一番やりたい事は、今まで銘仙を知らなかった方達に「銘仙を紹介する事」です。今回は、何組かの方達が足を止めて興味深く話を聞いてくれました。浅く広くよりは、深く狭くPRしていきたいと思っています。

そして、秩父に来て約2ヵ月経ち感じた事は、地元秩父の人が銘仙についてよく知らないという事です。なので、まずは秩父の人達にしっかり知ってもらい、一緒に秩父銘仙を盛り上げていけたらと思います。

今後も秩父で開催されるイベントを中心に出品させていただきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

嬉しかった事→銘仙が好きな高校生が「いつか自分で買って着ます!」と言っていた事

自転車で通りすぎりの高校生にディスプレイが「カッコイイ」と言われた事

今回作成したDIY作成例→スマートフォンケース、エコバッグ、Tシャツ、うちわ
ファブリックパネル

*簡単にできるDIYアイデア募集中です

走出



ほっとすぽっと秩父館 in みやのかわ商店街

人ごころ

つながる秩父

お試し居住&出張！移住相談 Cafe が始まります！



お試し居住が始まります。

お試し居住とは期間限定で秩父市の生活を体験していただける制度です。秩父の生活を垣間見ながら、秩父で生活するための準備をしていただく、そんな目的でお試し居住用住宅を用意しました。

7月1日から受付を開始いたしました。秩父に住んでみたいんだけど…というお知り合いがいましたら、ぜひ移住相談センターにお問い合わせください。

移住相談センターは秩父市のいいところをたくさん伝えながら、秩父生活の計画をお手伝いしていきます。

出張！移住相談カフェを

開催いたします。

皆さんは、秩父駅地場産センター4階に移住相談センターができたことをご存知ですか？今年の4月から営業を開始いたしています。

秩父の街はいいところがたくさんありますから、街中でも移住相談をできるようにしたいと考え、番場町の黒門通りに8月11日(金)・12日(土)の10時～15時まで期間限定で出張することにしました。場所はCafe&Bar Shu-Ha-Li(入船の隣)です。この日はShu-Ha-Liも昼営業を行いますので、カレーを食べにぜひ遊びに来てください。



この記事のお問い合わせ先

【秩父市移住相談センター 塩川】

TEL/FAX (0494)26-7946

MAIL ccbiju@bz04.plala.or.jp

ちちぶ歴史探訪

6月7月～June.July.

先月号に引き続きまして、ちちぶの歴史を紹介していきます。今回のテーマは「**札所三十四番**」です。秩父の皆さんはすでにおなじみの札所ですが、その歴史をたどると面白い側面が見えてきました。



札所巡礼の道筋を示す絵図（武笠（昇）家文書264「ちちぶ三十四所巡礼道案内絵図」、30.1×40.6cm）

秩父に札所が開かれたのは、文暦元年(一二三四)とされています。しかし、現在最古の資料が長禄二年(一四八八)の番付であることから、室町時代中期に創設されたものと推定されます。当初は三十三番で、また、定林寺(現十七番)を一番札所としていました。十六世紀後半になると、秩父札所が西国や坂東と併せて巡礼されるようになり、やがて現在の二番札所の真福寺が加えられたことにより日本百番観音と数えられるようになりました。

上の図は江戸後期に作られた絵図です。この地図のみでは各札所寺院に行きつくことは難しいのですが、この程度の地図で十分であったということは、秩父に入り土地の者に何番の札所に行きたいと尋ねれば問題ないほど札所が認知されていたということと、道しるべが発達していたことがうかがえます。(参考資料 埼玉県立文書館編[2008年]『古地図を楽しむ』埼玉新聞社。)

●記事問い合わせ先●

里ごころ はたおと秩父
文責：秩父市 商工課 地域おこし協力隊
関川 亜佐子 走出 雪
TEL:0494-25-5208(商工課)
MAIL:syoko@city.chichibu.lg.jp

山ごころ 大滝せせらぎ
文責：秩父市 大滝総合支所 地域振興課
地域おこし協力隊 谷口 孝文
TEL:0494-55-0862(地域振興課)
MAIL:ot-chiiki@city.chichibu.lg.jp

人ごころ つながる秩父
文責：秩父市 地域政策課 移住相談センター
地域おこし協力隊 塩川佳恵
(今回の歴史探訪担当)
TEL: 0494-26-7946(移住相談センター)
MAIL: ccbiju@bz04.plala.or.jp



秩父市地域おこし協力隊の日々の活動は

←Facebook ページ

「秩父市地域おこし協力隊」より！